

競 技 会 報 告 書

競技会名 第56回全国国公立大学選手権水泳競技大会			
期 間 2009年8月10日(月)～11日(火)			
会 場 名 北海道立野幌総合運動公園プール			
主管団体 北海道水泳連盟/財団法人日本水泳連盟学生委員会関東支部			
競技種別 競泳			
実働役員		参加チーム数 80	
日水連派遣		参加人数 男子 女子	
大会役員	常務理事・学生委員長 山重美登士	大会参加者数 493 284	
競技役員	競技委員会	8月 10日	
	審判長 谷口 孝司	8月 11日	
	泳法(主) 井田 克行	月 日	
	出発(主) 園山 直文	月 日	
	記録 濱田 将志	月 日	
主管団体(北海道水泳連盟)		合 計	
会長 安木泰次	理事長 森木義雄	種目	
学生委員会各支部		自由形	
関東支部	松本支部長 他3名	50	85 81
中部支部	林支部長 他3名	100	61 46
関西支部	丸山支部長 他1名	200	57 31
中四国支部	小村支部長	400	32 19
九州支部	田口支部長	800	
		1500	
大会役員	1日 16名	日数 2日	計 32名
競技役員	1日 46名	日数 2日	計 92名
補助役員	1日 44名	日数 2日	計 88名
その他	1日 名	日数 日	計 名
役員合計 212名			
支援役員状況		背泳ぎ	
◇財団法人日本水泳連盟学生委員会		50	
関東支部 猪木実行委員長 他5名		100	43 35
関西支部 6名		200	39 31
◇国公立・補助役員		平泳ぎ	
北海道大学、岩手大学、秋田大学		50	
		100	69 37
		200	64 32
実行委員会の動向及び準備状況等		バタフライ	
◇財団法人日本水泳連盟学生委員会関東支部と		50	
北海道大学が中心となり、準備を行った。		100	47 22
		200	50 17
		個人メドレー	
		100	
		200	56 36
		400	25 24
		200	31
		F・リレー	
		400	43 27
		800	35
		200	
		M・リレー	
		400	44 30
		合 計	
		750 499	
		総合計 1,249	

競技会成績	記録種類	男子	女子	総合成績			
	学童新記録	—	—	男子		女子	
	中学新記録	—	—	1位 筑波大 185.0	1位 鹿屋体育大 170.0		
	高校新記録	—	—	2位 鹿屋体育大 102.0	2位 筑波大 167.0		
	日本新記録	0	0	3位 岡山大 65.0	3位 岡山大 86.0		
	世界新記録	0	0	4位 大阪教育大 49.5	4位 大阪教育大 30.0		
	合 計	0	0	5位 大阪大 31.5	5位 東京学芸大 27.0		
	総合計	0	0	6位 東京学芸大 29.0	6位 千葉大 19.0		
	大会新記録	12	14	7位 新潟大 14.0	7位 福岡教育大 16.0		
	合 計	26		8位 広島大 10.0	8位 愛知教育大 9.0		
				※今大会の男女上位3校までが来年度のシード校となるため以下の通りとなる。 来年度男子シード校:筑波大・鹿屋体育大・岡山大 来年度女子シード校:鹿屋体育大・筑波大・岡山大			
プログラム編成	●(財)日本水泳連盟学生委員会関東支部で編成を行なった。						
	●男子750種目、女子499種目のエントリーで組合わせを行なった。						
	●予選・決勝方式で組合わせを行った。						
	●決勝競技開始前にスタートリストを作成・配布した。						
大会運営	●競技役員は北海道水泳連盟の協力を得て実施した。						
	●サブアリーナを借り、選手の控えスペースとした。						
	●参加の学生は、礼儀正しく、運営上の約束ごとがしっかり守られていた。開会式・閉会式においても、全員起立して参加していた。閉会式にも選手が退出することなく最後まで参加するマナーは当然のこととは言え、立派である。						
競技運営	●上訴審判団を設置した。 ※審議なし						
	●1日目について、タイムテーブルに余裕があり、予定より競技が多少早まった。 2日目についてはタイムテーブルを組み直したが、予選競技において組数を実際より多 計算していた種目があったため、早まった。決勝競技は予定通りに開始し、順調に進						
	●失格は、フォルススタート4件(男2,女2)、リレー引き継ぎ違反1件(女1)、 泳法違反2件(男2)であった。						
その他							